

# なからぎ

167号

2004年4月

## 乱読のすすめ

附属図書館長 春山 洋一

新入生の皆さん、在校生の皆さん、入学・進学おめでとう。

私が学生諸君に期待することは本を読むことです。図書館長になったから言うわけではありません。つい最近、私の所属する環境情報学科で、如何にして学生に本を読ませるかが話題になったのです。私が学生だった30年ちょっと前は、大学紛争が終焉を迎えるあたりで、大学生は本を読むのが当たり前でした。「本を読んでいない」と言うと馬鹿にされるような雰囲気がまだ残っていました。ところが、この数年、新入生の自己紹介を聞いていると、「本は読みません。」と悪びれずに言う学生が確実に増えています。初めは謙遜しているのか思ったのですが、どうも、何人かは本当にまるっきり読んでいないようです。

さて、何故、本を読ませることが話題になったかということ、話は単純です。本を読む習慣のない学生は、概して「論文が正しく読めず」、「なんとなく理解したつもり」になっているが「実は分かっていない」とか、「論理を積み上げることが不得手」で、「筋の通った文章を書けない」、「議論ができない」などという傾向が強いからです。ゼミにちゃんとしたレポートを出せること、報告の受け答えができることは卒論生や大学院生に求められる必要最低限の技量なのですが、どうも、そこら辺が怪しくなってきました。質問に的確に受け答えが出来ることは就職活動でもかなり決定的なポイントになります。何とかしなくてはということで、無理矢理にでも本を読ませるシステムを作る必要があるという話になったのです。

本を読みさえすれば良いということではありませんが、少なくない学生諸君は本を読む癖をつけるところから始める必要があるようです。専門の本は卒論や修論の時期になれば否応なしに読むことになりますから、特に新入生の皆さんには今のうちに雑多な色々な分野の本を乱読してほしいと思います。初めの抵抗は大きくても、数多く読めば、読書は習慣として身につけてきます。その手助けをするという点で、図書館は、色々とできることがありそうです。具体的な手だてを考えてみようと思っています。

府大図書館の蔵書は少ないとよく言われますが、今では、インターネットで検索し、府大にない本は他所の図書館から借り出すことができます。著作権が消滅した昔の本はインターネットの「青空文庫」や「Project Gutenberg」から無料で読むこともできます。

受験勉強から解放された新入生の皆さん、心意気新たに新学期を迎える皆さん、この春、乱読を始めましょう。

(はるやま よういち：人間環境学部教授)

## 棚田オーナーとグリーンツーリズム

図書館運営委員 宮崎 猛

日本の農村は美しい。とくによく手入れされた田や畑、里山や人工林などは、四季のうつろいに合わせて景観が変化して、人々の五感を満足させてくれる。今は、新芽の山々と、田植え前の水をはった水田、春の花々が美しい。

日本の農村の中でも、山がちな中山間地域の農村は、美しい景観、豊かな自然、きれいな水と空気、おいしい米や野菜・果物など様々な魅力をもち、訪れた都市住民に憩いと安らぎをもたらす。日本の農林業や農山村がもつセラピーと教育の効果は、ますます注目されて、都市と農村の交流であるグリーンツーリズムも活発になってきている。

しかし、中山間地域の人々の過疎化と高齢化により、田畑や里山の作業放棄が広がっている。とくに階段状に小区画の田んぼが続く棚田は、作業効率が悪いことから、真っ先に耕作放棄されている。下の写真の左側はよく耕作された棚田であり、右側は耕作放棄された棚田である。いずれも田植え直後の写真だが、左側の美しい棚田に対して、雑草の繁茂した

右側は見るにしのびないものがある。このように、農林業など人間が継続的に自然生態系に働きかけることにより、保全されている豊かな自然と美しい景観は、二次的自然である。

二次的自然に代表される農村景観は、地元で農林業を営む人々のライフスタイル(生き方、生活上の価値観)を反映したものと考えられる。たとえば、よく手入れされた棚田が美しいと感じるものの背景には、過疎化と高齢化が進んだ中山間地域でも、厳しい自然と向き合いながら先祖から受け継いできた技術と文化を守るために、愚直に必要な作業を繰り返してきた質実剛健な農家のライフスタイルがある。また、耕作放棄された棚田が見苦しいと感じるのは、若者が都会に去り、気力も体力も衰えた老人たちが夫婦のみで、あるいは独居状態で残された哀しさを連想するからであろう。都市住民が農村を訪問して最初に体感するのは、美しい景観、豊かな自然、伝統的文化への感動である。しかし、何回も同じ農村を訪問して、地元の人々と交流を深めてくると、地



伊根町 新井



棚田荒廃地

元の人々のライフスタイルに感銘を受けるようになる。都市と農村の交流と呼ばれるグリーンツーリズムは、訪問者の五感を満足させるだけの観光ではなくて、「農のある暮らし」というライフスタイルへの農村住民と都市住民との共鳴(価値観の共有)を本質としている。

グリーンツーリズムを実践的に学習するために、農業経営学研究室では毎年、農山村の棚田オーナーとなり、地元の農家の人々と交流しながら米づくりなどを体験している。場所は舞鶴市西方寺平、山間の桃源郷のような棚田である。田植えから稲刈りまで、すべて手作業で無農薬米を栽培している。棚田オーナーとして活動する日は、土曜日または日曜日に限定されている。日帰りが基本だが、年間に 2 回地元の運営する「山小屋」などで宿泊もする。昨年度は、自分たちで栽培した大豆を利用して、味噌づくりにもチャレンジしたり、山菜とりやハダケとりもした。



田植え



昨年度の年間活動スケジュールは、左記のとおりである。

今年も、舞鶴市西方寺平で棚田オーナーとなり、米づくりや地元の人々との交流を実施します。学生、とくに新入生の皆さんの参加を募集しています。早い時期に下記の農業経営学研究室の院生まで、ご連絡ください。

柴田 朋憲 (090-9160-9850)

坂本 央士 (090-7552-2227)

管理者メールアドレス

(tanada\_a7@hotmail.com)

(みやざき たけし：農学研究科教授)

5 月末	田植え
6 月末	草取り、竹きり (流しソーメン)
( 宿泊 )	大豆の植付け
7 月初め	草取り
7 月後半	いかだレース (手作りいかだ)
( 宿泊 )	
9 月末	稲刈り
11 月上旬	収穫祭
11 月中旬	棚田米の分配
11 月下旬	流木祭に出店
12 月末	しめ縄づくり
2 月初め	味噌づくり

図書館からのミニ情報

宮崎猛教授の著書のうち『これからのグリーン・ツーリズム：ヨーロッパ型から東アジア型へ』(689.4 M)家の光協会刊及び『グリーン・ツーリズムと日本の農村：環境保全による村づくり』(611.9 K)農林統計協会刊は当館に所蔵しており、共に 2 階閲覧室 6 門の書架に配架しています。

## 図書館利用案内

### 開館時間

平日 午前 9 時～午後 8 時  
休業中 午前 9 時～午後 4 時45分  
(夏休み・冬休み・春休みの期間中)

### 休館日

土・日、祝日  
年末年始 (12月28日～1月4日)  
11月5日 (府立大学創立記念日)  
8月第2～3週 (蔵書点検・資料整理等)  
3月20～31日 (蔵書点検・資料整理等)

### 図書館内の利用施設

#### 【1階】書庫、東書庫

#### 【3階】自習室 (51席)、共同研究室、個室、 視聴覚室 (最大100席)、書庫

#### 【2階】開架閲覧室 (約100席)

インターネットコーナー (端末6台)  
AVブース (5席)、書庫  
検索コーナー (端末4台)  
\* 詳細は右頁「配架図」参照

### 図書館サービス

#### 【資料提供サービス】閲覧・貸出・複写等。

- \* 通常貸出冊数：6冊以内(H16.4.1改正)、通常貸出期間：2週間以内
- \* その他、長期貸出、特別貸出、一時持出し等については、係員にお問い合わせください。
- \* 複写には公費と私費利用があります。(料金は下表のとおり)

本学所蔵文献複写(電子複写・マイクロ)料金	学内・学外(来館者): 1枚 10円
ILL等の申込みによる文献複写料金	
他大学資料の場合: 依頼先の定めた金額	本校所蔵資料の場合: 1枚 20円(但し郵送料は別)

#### 【情報提供サービス】所蔵調査・書誌情報の調査をします。

【施設利用サービス】視聴覚室・視聴覚機器類・共同研究室等の利用は事前申込みをしてください。

【相互利用サービス】閲覧依頼や文献取寄せ等他館資料の利用ができます。

【学 生 希 望】本学学生は希望する図書のリクエストができます。

【そ の 他】2階閲覧カウンターでご相談ください。

### 図書館ホームページのご案内

図書館の概要、新着案内などをお知らせしています。

【アドレス：<http://www.kpu.ac.jp/toshokan/tosyokan/tosyokan.html>】又は、府立大学のホームページからも入れます。

### 本学図書館所蔵図書検索 (OPAC) のご案内

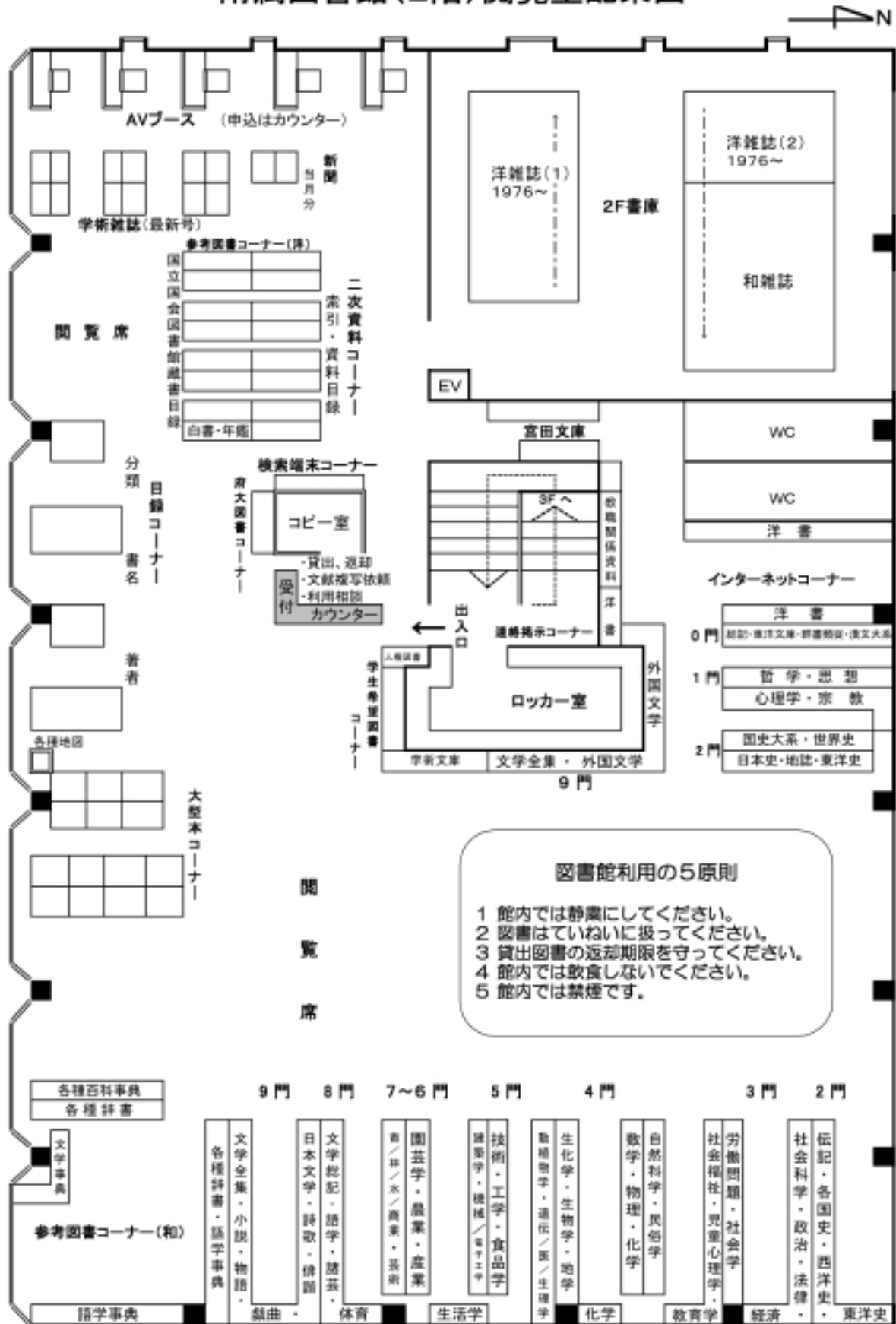
図書館ホームページから検索画面に入れますが、【アドレス<http://kpu-lib.kpu.ac.jp/cgi-bin/limedio/limewwwopac>】でも直接アクセスできます。

### 文献複写依頼 (ILL) のご案内

本学に所蔵していない資料についても、他大学に文献複写依頼をすることができます。

まず、本学のOPAC等で本学が所蔵していないことを確認し、【アドレス<http://kpu-lib.kpu.ac.jp/cgi-bin/limedio/limewwwillcopy>】にアクセスするか、図書館ホームページのトップから複写依頼画面に入ってください。その際、「利用者ID」と「パスワード」をあらかじめ取得しておいてください。なお、2階閲覧カウンターでも受け付けています。

## 附属図書館(2階)閲覧室配架図



### 図書館利用の5原則

- 1 館内では静粛にしてください。
- 2 図書はていねいに扱ってください。
- 3 貸出図書の返却期限を守ってください。
- 4 館内では飲食しないでください。
- 5 館内では禁煙です。

## 電子ジャーナル

～ アンケート・無料トライアルの結果と新規ご案内～

学術情報の電子化の進展と流通形態が歴史的な変革を遂げ、この電子化に対応していくひとつとして、「電子ジャーナルの導入を検討しよう」と、昨年 9 月より図書館運営委員会ワーキンググループで検討がなされてきました。この 2 月には「電子ジャーナルに関するアンケート」が実施されました。実施後も期待の声などが寄せられています。図書館として、この間の様子等をお知らせするものです。

### 1 電子ジャーナルの意味

それぞれにイメージをお持ちかと思えます。電子ジャーナル、オンラインジャーナル、E-ジャーナル等呼称もいくつか使われていますが、ここでは「ネットワークを通じて出版社から提供される学術雑誌」(注1)について「電子ジャーナル」というように捉えています。

しかし、皆様に無料トライアルして頂いた「ジャパンレッジ」など「オンラインデータベース」も一定検討されています。様々な形態があるかと思われそうですが、皆様の色んな意見や、フリージャーナルの便利なサイトのご教示などお寄せ下されば嬉しく思います。

### 2 「電子ジャーナルに関するアンケート」へのお礼

「アンケート」の回収は下表のとおりですが、2 月という大変忙しい時期に実施したにも拘らず、回答を寄せて頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。

「アンケート」全体の集計結果および分析の報告書は、図書館運営委員会ワーキンググループから後日出されますので、是非ご覧頂きますようお願い致します。

[表] (人数は平成16年2月1日現在)

		院 生	助 手	講 師	助 教 授	教 授	計	回答比率
文 学 部	人 数	76	0	1	17	19	113	10.6%
	回答数	4	0	0	4	4	12	
福祉社会学部	人 数	29	0	1	9	10	49	38.8%
	回答数	4	0	1	7	7	19	
人間環境学部	人 数	85	4	2	16	18	125	24.8%
	回答数	9	4	1	8	9	31	
農 学 部	人 数	131	10	13	13	21	188	26.6%
	回答数	31	4	5	5	5	50	
計	人 数	338	14	17	74	88	531	21.1%
	回答数	48	8	7	24	25	112	
回答比率		14.2%	57.1%	41.2%	32.4%	28.4%	21.1%	

回答数からでも、学問分野の相違等による関心度が一定読み取れるのではないかと考えられます。ある人文学研究者の「電子ジャーナルで仕事をしている文学研究科系教官はいない」等の発言は、現在進められている学術情報の電子情報化に対する陥穽を突くものとして、しっかり受け止め、ハイブリッド型の図書館をめざす必要があるのではと感じています。

### 3 電子ジャーナル化の動き

今年度、公大協図書館加盟の 5 大学による 2004 「SpringerLink コンソーシアム」が発足しました。これは、Springer-Verlag およびそのグループ出版社 (Birkhauser, Physica-Verlag, Steinkopff, Urban & Vogel) が提供しているものです。

2003 年 8 月の調査において、公立大学で電子ジャーナルを導入しているのは、75 公立大学のうち、14 校に至っています。公立大学においても導入が進んでいます。

国の方は、文部科学省の報告によると、総合科学技術会議(在内閣府)の策定した「科学技術基本計画」で、重点 4 分野である 1) ライフサイエンス分野 2) 情報通信分野 3) ナノテクノロジー・材料分野 4) 環境分野の電子ジャーナル収集経費として、平成15年度約 6 億 6 千 5 百万円計上しています。

## 4 電子ジャーナル・オンラインデータベースの無料トライアル結果

突然の取り組みで案内も不十分のままに、1月中旬から2月にかけて無料トライアルを実施した結果は、下表のようになっています。

日経テレコン21を除いては、IP認証による図書館のHP(ホームページ)上からアクセス可能にしましたが、取り組みの不十分さにも拘らず、相当数の利用があったのではないかという感じを受けています。日経テレコン21は、事情により、ID・パスワードを申し込みによりお知らせする、という方式をとりましたが、敷居が少し高かったようで、図書館のカウンターでは、ひとりの申込者もなかったようです。しかし、先生方を中心によく利用されたのではないかという印象を受けます。

[表]

	種類	提供先	トライアル期間	アクセス件数
ジャパンレッジ	オンラインデータベース	丸善	2003.12.15-2004.2.13	192
ProQuest Academic Research Library	アグリゲータ系電子ジャーナル	紀伊国屋書店	2003.1.13-2004.2.12	328
日経BP記事検索サービス	オンラインデータベース	日経メディアマーケティング	2003.1.13-2004.2.29	223
日経テレコン21	オンラインデータベース	日経メディアマーケティング	2003.1.13-2004.2.29	628

## 5 新規無料トライアルのご案内

引き続き、無料トライアルを実施をする予定です。時期は、5月の連休明けで申請したいと考えています。現在、下記アグリゲータ系(注2)の2つを予定しています。図書館HPをご覧くださいようお願い申し上げます。

EBSCOhost (エブスコホスト)

オンライン外国雑誌論文データベースで、full text 1800余、abstract 3200余を収録し、プリント・ダウンロード・E-Mail 送信ができるものです。人文、社会、自然系等幅広い分野をカバーしているようです。当府立大学が購入している洋雑誌との突合では、abstract を含めて79誌を収録しています。

InfoTrac OneFile (Gale)

一般誌のNYタイムズから学術雑誌まで、収録タイトル数9000以上の総合電子ジャーナルデータベースです。当府立大学が購入している洋雑誌との突合では、abstract を含めて82誌を収録しています。

## 6 オンラインフリージャーナルの案内

図書館ではこの間、オンラインフリージャーナルを調べてリスト化(現在700誌程)して、カウンターで案内もしています。これによって、文献複写依頼がなされたものが収録されていて、直ぐに解決したこともあります。皆さんがお持ちの知恵や情報も教えて頂きながら、一緒に少しでも豊かな情報環境が作れば良いなあと思います。

最後に、上記で述べてきました電子ジャーナルについての詳細な内容や、リストおよび当府立大学購入洋雑誌の収録誌等について、一定の資料が図書館事務室にあります。お気軽にご利用下さい。また、どのような事・意見でもお寄せ頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

(注1) 大きく言って、出版社が直接提供するものと、アグリゲータ経由で提供されるものがある。後者は、アップロードに時間を要するものがある。タイトルも突然変更されることもある。

(注2) アグリゲータ(aggrigater)は、複数の出版社発行の学術雑誌を電子ジャーナル化し、提供を統合的に仲介する統合サービス機関をいう。

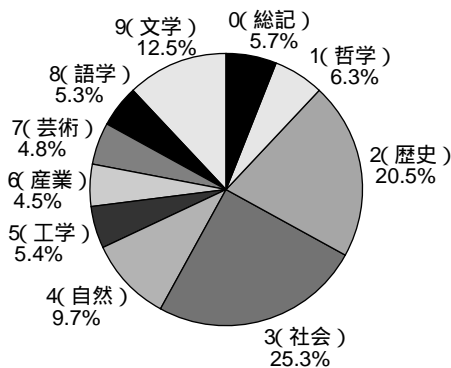
## お知らせ

京都府立大学では平成16年3月現在、約36万1千冊の専門参考、教養図書を所蔵しています。うち、図書館で管理している資料は約12万5千冊。2階閲覧室には約4万冊、書庫内には約8万5千冊を配架し自由にご覧いただけます。この1年間、図書館で新たに受入れた資料は下表のとおりです。ほかに各種学術雑誌もあります。また、各学部、講座の所蔵本は約23万6千冊あり、それぞれ、研究室所定の方法で活用していただくことができます。

### 図書館受入図書種類別冊数及び分類別比較

(H.15.4月～H16.3月分) - 中間速報 - (2004.3/16現在)

分類 種類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	合計
和書	153	167	520	678	254	152	120	132	147	329	2652
洋書	1	2	5	10	18	0	2	0	1	23	62
中国書	7	7	46	23	1	0	5	2	0	0	91
ハンガール	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
地図資料	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
CD-RM	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5
合計	161	176	578	714	273	152	127	134	149	352	2816



## カレンダー

2004年4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

【4/1(木)～通常貸出実施  
(貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)】  
【～4/13(火)春休み長期貸出図書返却期限】  
【4/29(木)みどりの日】

2004年5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

【5/6(木)～通常貸出実施  
(貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)】  
【5/3(月)憲法記念日】【5/4(火)国民の休日】【5/5(水)こどもの日】

2004年6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

【6/1(火)～通常貸出実施  
(貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)】

### 開館時間等

通常開館	9:00 - 20:00	
春期休業	～4/12	9:00 - 16:45
休館日	土・日・祝祭日	

### 図書館登録等のご案内

図書貸出、文献複写、一時持出や他校への閲覧依頼等の「図書館サービス」を受けていただくためには「図書館利用カード」の提示が必要です。  
貸出図書は予約が入っていない限り、期間延長できますので、期限切れまでに返却したうえで、あらためて貸出手続きをしてください。

**新入生の皆さん**  
ご入学おめでとうございます。  
入学式の時お渡ししました「図書館利用カード」は、図書館をご利用いただく際に必要です。紛失しないよう、大切に携帯ください。

**在校生の皆さん**  
まだ「図書館登録」していない場合は、学生証を持って2階閲覧室カウンターへお越しください。本校を卒業されるまで有効の「図書館利用カード」をお渡しします。